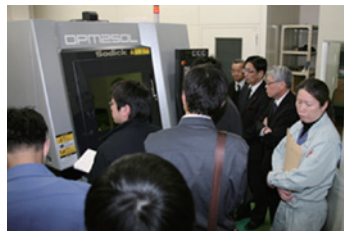


3Dプリンタに関するお知らせ

□3Dプリンタ研究会第4回利活用セミナーを開催

3Dプリンタの利用促進を目的とした利活用セミナーと経済産業省の「地域オープンイノベーション促進事業」を受けて導入した三次



元造形機(金属造形用)[以下、金属3Dプリンタ]の説明・見学会を3月6日(金)に開催し、100名の参加がありました。

利活用セミナーでは、近畿大学工学部教授京極秀樹氏より「金属プリンタの活用と開発動向」と題して、国家プロジェクトで進められている産業用3Dプリンタの開発動向についてご紹介いただき、特にプリンタだけでなく、設計や解析技術が重要になってくるとの指摘もいただきました。

引き続き行われた導入機器の説明・見学会では、金属3Dプリンタの概要および利用方法の説明後、今年度導入した石膏3Dプリンタ、樹脂3Dプリンタや周辺機器を集約整備した「3Dモノづくりラボ」の見学を行いました。

平成27年度は、6月上旬に開催する「造形分科会」皮切りに、「利活用セミナー」を1回、「設計分科会」を2回、「造形分科会」を2回、「仕上げ分科会」を1回開催する予定です。

加えて、3Dデータ作成ツールの実習形式のセミナーも2回開催する予定です。詳細が決まりましたらホームページ等でご案内いたしますので、ぜひ、ご参加ください。

□新規導入設備の紹介(3Dプリンタ関係)

平成25年度補正予算の経済産業省委託事業「地域オープンイノベーション促進事業(北陸地域)」により、金属を造形する3Dプリンタ導入しました。

○三次元造形機(金属造形用)

粉末状の金属をレーザーで熔融凝固させ、必要に応じて切削加工を加えながら金属を立体形状に造形することができます。部品の試作だけでなく、高付加価値なモノづくり設備としての期待が高い装置です。

[メーカー・型式]

(株)ソディック・OPM250L

[仕様]

・造形方式:

レーザー粉末熔融+切削加工方式

・最大造形寸法:

250x250x250mm

・造形材料:マルエージング鋼、SUS420J2

[特徴]

機械加工や鋳造など、従来の技術では不可能だった複雑な形状の金属製品を造形可能

[料金] 1時間3,400円、造形物1㎤あたり200円加算

